

一般にいられているブロック塀の正式名称は、「補強コンクリートブロック造の塀」といいます。ブロック塀は、鉄筋コンクリート造の布基礎の上に建築用コンクリートブロック（以下、ブロックという）を組積し、鉄筋で補強されている壁体からなる塀です。

ブロック塀は単純な工法ですが、基・規準等を守り造られれば住宅など敷地内外の環境が保護され、安全・安心な外構としての役目を果たします。しかしながら、これまでの多くの地震で、ブロック塀の倒壊による被害が発生してきました。この被害は、単純な工法であることが災いをして、ブロック塀に対する正しい構造・施工の知識がなくとも容易に造れることが原因の一つであり、またこれらの不適切なブロック塀は、見た目では基・規準を守り造られた塀と判別できないことに問題があると考えます。

ここに掲載した写真1は、熊本地震によって倒壊した住宅を支えるブロック塀。倒壊した住宅が道路上へ崩れ出すのを防ぐことで、緊急車両の走行や避難路の確保に役立っています。

本来ブロック塀は、このように安全・安心な外構として造られ、住民や環境の保護するためのもので、建て主、設計者、施工者、ブロックメーカーのそれぞれの立場での配慮が重要です。



写真 1 倒壊した住宅を支えるブロック塀

ご提供：ジェネスプランニング 三船 康道

平成 30 年 10 月 1 日

作成：あんしんなブロック塀推進委員会

1. 法律と規格

● 建築基準法・同施行令第 62 条の 6 及び 8

ブロックの組積に対する施工方法及びブロック塀の高さとブロック厚さ、塀の高さと基礎の寸法・根入れ深さ、鉄筋径・間隔、控壁（柱）などを規定している。

● 平成 12 年建設省告示第 1355 号

補強コンクリートブロック塀の構造耐力上の安全を確かめるための構造計算の基準について規定している。

● 日本工業規格 JIS A 5406（建築用コンクリートブロック）

コンクリートブロックの種類・寸法や品質・性能などを定めている国家規格です。

2. (一社)日本建築学会

● 壁式構造関係設計規準集・同解説「コンクリートブロック塀設計規準・同解説」

ブロック塀をつくるための設計等を建築基準法より詳細に、推奨される数値などをより詳細に定めている（以下、設計規準という）。

● 建築工事標準仕様書 JASS 7 メーソリー工事「補強コンクリートブロック塀工事」

ブロック塀の施工に関することを、設計規準を基により詳細に定めている。

● 壁式構造配筋指針・同解説「コンクリートブロック塀」

ブロック塀に関する配筋について詳細に定めている。

● ブロック塀施工マニュアル

上記 3 規準をまとめて、わかりやすく解説をしている。

建築基準法施行令の規定はブロック塀に対する最低基準であるので、本稿ではブロック塀の耐久性などを考慮して、日本建築学会の諸規準を基にした重要な規定を抜粋列記する。なお、フェンス付きブロック塀については割愛する。

本JCBAでは、ブロック建築に関わる人々に必要とされている知識や技能について記述している「よくわかるブロック建築工事」を発行しているので、併せて参考にされたい。



写真 2 関係法規・規準書及び関係書籍